

# 施策分析シート（平成30年度）

No1

<b>施策名</b>	魅力あふれる個店づくり	<b>施策No</b>	05-05	<b>部課名</b>	産業経済部産業振興課		
<b>関連部課名</b>							
<b>行政評価</b>	<b>分野</b>	産業革新都市					
<b>事業体系</b>	<b>政策</b>	05	活力ある地域経済づくり				

**目的** 来街者が何度でも訪れたい魅力ある店舗を生み出すための支援を充実するとともに、意欲のある個店同士が連携し、技術と知恵を結集させることのできる仕組みづくりを支援する。

指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文	
		27年度	28年度	29年度		
	まちの産業	2.51	2.57	2.56	荒川区の企業（お店や町工場など）は元気で活力があると思いますか？	
標	施策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明
		27年度	28年度	29年度	30年度見込み	
	街なか商店塾参加店舗数(店)	64	68	68	72	80
	一店逸品運動参加店舗数(店)	12	10	10	9	15
	魅力あふれる個店づくり事業メールマガジン登録数(件)			25	50	500

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	28年度	29年度	差額	28年度		29年度	差額		
行政費用	給与関係費	10,098	11,268	1,170	地方税	0	0	0	
	物件費	2,158	2,115	43	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	442	3,182	2,740	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	782	1,438	656	行政収支差額(a)-(b)=(c)	13,480	18,003	4,523	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	13,480	18,003	4,523	通常収支差額(c)+(d)=(e)	13,480	18,003	4,523	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	13,480	18,003	4,523		
貸借対照表	勘定科目				流動負債	勘定科目			
	28年度	29年度	差額	28年度		29年度	差額		
流動資産	収入未済	0	0	0	還付未済金	423	491	68	
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	423	491	68	
固定資産	有形固定資産	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0	
	土地	0	0	0	固定負債	4,739	5,744	1,005	
	建物	0	0	0	特別区債	0	0	0	
	建物減価償却累計額	0	0	0	退職給与引当金	4,739	5,744	1,005	
	工作物等	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0	
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	負債の部合計	5,162	6,235	1,073	
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	5,162	6,235	1,073	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	5,162	6,235	1,073		
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	0	0	0		
資産の部合計	0	0	0						

### 財務諸表に関する特徴的事項等

行政費用として給与関係費や補助費等の割合が高くなっている。前年度と比較すると、補助費等が増加しているが、平成29年度から「魅力あふれる個店づくり事業」を開始し、報償費が増加したことによるものである。貸借対照表に計上されている賞与引当金及び退職給与引当金は、平成29年度から上記事業を開始したことに伴い、増額となっている。

## 施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>平成28年家計消費状況調査によると、ネットショッピングを利用した世帯の割合は、平成14年（調査開始時）に比べ5.2倍と大きく増加している。</p> <p>こうした中、区では地域に密着した商店街ならではの個店に着目し、その魅力と存在価値を高めるため、「街なか商店塾」や「一店逸品運動」を推進し、こだわりの店の発掘やPRを進めてきた。</p> <p>平成26年度荒川区商業事業者訪問支援事業調査によると、他店同業種との交流について、「有り」は約40%、「無し」は約60%という結果であり、一定の割合は維持している。一方で、他業種や他地区との連携については、約80%が「無し」と回答しており、新たな関係構築への消極的な姿勢が伺える。</p> <p>このため、平成29年度からは、「魅力あふれる個店づくり事業」を開始し、意欲のある個店の支援、個店同士のネットワーク構築、新たなアイデアや取組に対する支援等を実施している。</p>
課題	<p>商店街の客足が減少傾向にある中、多くの個店では、顧客との会話を通じて消費者の購買意欲を引き出すことのできる、商店街ならではの優位性を活かしきれていない。その隠れた魅力を掘り起こすための支援が必要である。</p> <p>個店が単独で、情報の収集や事業のPR等の取組を行うことは限界があるため、個店同士が互いに協力し、相乗効果を上げるネットワーク構築が必要である。</p>
今後の方向性	<p>意欲ある個店への継続的な支援として、「魅力あふれる個店づくり事業」、「街なか商店塾」、「一店逸品運動」を一層推進し、個店の魅力向上に取り組む。</p> <p>魅力あふれる個店の発掘を進めるとともに、個店の魅力の一層の向上を図るため、専門的な知識を持ったコーディネーターによるアドバイス、ノウハウの提供等の支援を充実させる。併せて、魅力ある個店を広く周知し来街者の増加を図るため、区内外へのPRを積極的に進める。</p> <p>「魅力あふれる個店づくり事業」では、魅力ある個店同士が、商店街の枠を越えてネットワーク化を進めることのできる環境を整備するとともに、他業種との連携を強化する仕組みづくりを支援している。今後は、個店どうしが情報交換や相互の支援等を行える機会を充実させるなど、新たなアイデアや取組の創出につながる支援を展開していく。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
30年度	31年度	
重点的に推進	重点的に推進	意欲ある個店を積極的に支援し、個店の魅力を高めることは、区内商店街及び地域の活性化に繋がるため、重点的に推進する必要がある。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		28年度	29年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
魅力あふれる個店づくり 事業	06-01-11	-	6,082	-	2,768	重点的 に推進	重点的 に推進	商店街や地域の活性化を図るためには、意欲のある個店の支援、個店同士の連携構築、新たな取組の実現に向けた支援を通じ、魅力ある個店を育成することが非常に重要である。
魅力ある店舗創出支援事 業	06-01-19	1,136	629	99	76	推進	推進	事業実績・事業効果を踏まえ、事業の周知と実効性のある事業を展開する。商店街活性化及び個店改善につながる事業であるため推進する。
街なか商店塾事業	06-01-21	6,721	5,811	2,058	1,944	重点的 に推進	重点的 に推進	個店支援の中心的事業であり、当該事業の優先度は極めて高い。
一店逸品運動推進事業	06-01-23	5,049	4,319	386	452	重点的 に推進	重点的 に推進	個店支援の中心的事業であり、当該事業の優先度は極めて高い。
商業振興功労賞表彰事業	06-01-27	575	1,162	56	56	継続	継続	商業事業者を顕彰することは、モチベーションの向上による商業振興につながることから、継続実施していく。
合 計		13,481	18,003	2,599	5,296			